

新型コロナウイルス感染拡大及び熱中症の防止に関する 臨時農業生産情報

令和3年8月3日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

県内において新型コロナウイルス感染症が拡大しています。農山漁村地域においても、帰省や職場・学校の夏休み等により人が集まる時期であり、感染リスクが高まりますので、今後の繁忙期に備え、感染防止対策を徹底してください。

また、今後2週間は高温が続く予報となっていますので、農作業中の熱中症対策も徹底してください。

1 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

感染リスクが高まる場面

- 帰省者、来訪者との飲食
- お盆・お墓参りに伴う実家・親戚宅等での会食・会合
- 集落の宵宮
- 作業の節目の会合（バーベキュー等）
- 作業機械等の共同利用、農業用ハウス等の作業

対策1 3密（密閉、密集、密接）にならないように工夫しましょう

- 休憩、夕食時においては、できる限り距離をとって会話等は必要最小限にしましょう。また、こまめに換気し時間をずらすなどの工夫をしましょう。
- 少人数であっても飲食を伴う集まりは控えましょう。
- 毎日一緒に作業をしていない方がお手伝いに来た時は、休憩や食事中に会話する際も、マスクを着用しましょう。
- ハウスや屋内の共同作業では、十分に換気を行いましょう。
- 軽トラック等による移動時は、マスクを必ず着用し、会話等は必要最小限にしましょう。また、十分に換気を行いましょう。

対策2 体調を確認しましょう

- 作業前と作業後に、体温を測定し、記録をしましょう。また、複数名で作業する場合は、手洗い、マスク着用を徹底しましょう。
- 発熱などの風邪症状がある場合には、自宅で待機しましょう。

対策3 共同利用機械等の消毒をこまめに行いましょう

- 農業機械、施設等を共同利用する際は消毒を徹底しましょう。
- 作業小屋や休憩所など、共同で利用する場合は、ドアノブ、手すり等、人がよく触れるところの消毒や拭き取りを心がけましょう。

2 農作業中の熱中症対策の徹底

対策1 高温時の作業は避けましょう

- 特に高齢の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう。

対策2 単独作業は避けましょう

- 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう。

対策3 こめまな休憩と水分補給をしましょう

- 涼しい日陰などで作業服を脱ぎ、体温を下げましょう。
- のどが乾いていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。

対策4 適宜マスクを外しましょう

- 屋外やハウスで、人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(農林水産政策課) 企画調整グループ 総括主幹(GM) 相馬 宏伊 農業改良普及グループ 総括主幹(GM) 斉藤 仁志
電話番号	(農林水産政策課) 直通 017-734-9457、9473 内線 4979、4987
報道監	農林水産部 次長 石澤 雅史(内線:4966) 次長(農商工連携推進監) 近藤 幹三(内線:4967)

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>